

会 議 記 録

記録者：鈴木達也

会議名称	まちづくり懇談会（広瀬地区）
開催日時	令和４年９月２２日（木）１９：００～２０：３０
開催場所	広瀬コミュニティセンター
出席者	参加者：２２名 町：町長、副町長、佐藤政策財務課長、遠藤庁舎整備課長、佐野庁舎整備班長、鈴木

<会議内容>

報告・協議

・町長あいさつ

・説明・・・新庁舎建設について、財政状況について

・懇談・・・将来のまちづくりについて（新庁舎建設場所等）、町政全般について
（町民）

旧江戸鮪の取得費用と解体費用について知りたい。

（事務局）

取得費用は裁判の競売で取得し４４０万円、解体費用は約２，５００万円です。

（町民）

庁舎建設場所が変わった場合は、その金額は無駄になるのではないかと。

（事務局）

移転となった場合においても無駄にはしないように、跡地の利活用も含めてまちづくりの計画を立てていきたい。

（町民）

庁舎建設の積み立てで解体等していると思うが、目的外でも予算を使っていいのか。

（事務局）

仮定の話だが、移転した場合は一般財源を充てるように振替えることは可能である。いずれにし

でも使用したお金が無駄にならないようにまちづくりを計画していく。

(町民)

庁舎を建てることに使うわけではないのだからそれは無駄になるのではないかな。

(事務局)

庁舎建設そのものに使用したわけではなくするという意味では間違いはない。

(町民)

そうなった場合、その分の収入というのは税金なりが別途充てられるようになると思うが、無駄にはならないようにお願いしたい。

もう一つ、今回アンケートを実施するとのことだが、このアンケートは最終的にどういった取扱いになるのか。

(事務局)

町民の方から幅広く意見を聴くということでアンケートを実施する予定だが、町が総合的に判断していくうえでの材料にしたいと考えている。

(町民)

議会制民主主義の中で、私たちは議員に投票し、議員が議会において議決をして今現在の建設場所となっているが、その議決がアンケートをもってひっくり返る可能性があるというのはどうなのかと考えている。また、アンケートを取った結果他の候補地が優勢となった場合にはその候補地に変更することになるのか。

(事務局)

現建設予定地を決めた議決も尊重するし、今年の6月議会で出された意見書についても尊重しなければならない。そういった中で今回幅広く町民の意見を聴いて、町としてどこが良いかと判断していきたい。

(町民)

アンケートの結果と違う候補地になったら、町民としては聞いてないよ、というような結果になるのではないかな。そう考えるとアンケートは無駄じゃないかなと思う。アンケートを実施するにもお金がかかると思うがいくらかかるのか。それも無駄になるのではないかな。

(事務局)

年代別に1,000人抽出を予定しており、約9万円の経費を考えている。

(町民)

議会制民主主義において、町民が投票した議員の方々が決めた内容をアンケートで覆すことになるのはいかがなものか。国会議員だったら総辞職の総選挙になるようなことではないか。もはや現建設予定に賛成か反対か公表してもらいそこに投票していくような形の方がすっきりする内容でないか。

私はどちらに賛成でも反対でもなく、懇談会での意見として聞いてほしいのは議会制民主主義においてアンケートで決めていくというのはちょっと危ないのではないかと考えている。

(事務局)

受け止めさせていただきます。

(町民)

町民プールのプールサイドがボロボロで足が痛くて歩けない。あれでは子どもいかないのではないか。お金とっているのだから整備してもらわないと困る。

(事務局)

建設課の方に伝えます。

(町民)

庁舎も古く維持管理も限界である。丈夫で長持ちし、新しくなって良かったなと思える庁舎を作ってもらいたい。

(事務局)

基本理念にもあるような内容を網羅し、60年70年ともつような庁舎を作っていきます。

(町民)

新たな候補地がでてきているが、この中から選ぶということなのか。

(事務局)

あくまでも今使われていない未利用地を示しただけであり、この中から選ばないといけないというわけではなく、懇談の材料として提出した。

(町民)

防災の拠点を考えた場合には、やはり広い土地でないといけないと思う。

(事務局)

ヘリコプターが着陸できるようなスペースも欲しいという意見も以前あった。検討していきたい。

(町民)

基本的な考え方ではじめに防災面がでてくるのが最近の流れであると感じた。
ハザードマップ上で安全な場所というものを選んでもらいたい。

駐車場のことが結構でるが、これからの人口減少を考えたらそこまでいらないのではないか、またコミセンが支所的な機能を果たせばもう少しコンパクトな規模で考えてもいいのではないか。個人的には住民票や印鑑証明くらいしか用事がないのでそれでも十分だなと感じる。これからマイナンバーが普及していけば、なお役場に行かなくても用事を済ませられるようになるのでは。

(事務局)

災害が起きた際には庁舎が本部となり、そうなった場合には自衛隊含め各地区からの応援部隊というものも考えられ、駐車スペース含めやはり広い土地というものは必要だなと考えている。具体的に何台くらい必要なかはこれから算定していくことではあるが、100台以上は確保したい。ハザードマップ自体で浸水区域が広がっている傾向があり、前回示された浸水想定よりもさらに悪くなる想定である。本部となる庁舎については場所も勿論のことだが、発電機や中枢機能については2階以上に備える必要はあると考えている。

また今現在、庁舎は複合施設を考えている。行政と密な関係である外部組織というものを複合することで、ワンフロアで手続き等がすべて済ませられるような庁舎を考えている。

将来的にはマイナンバーカードを利用しての行政サービスが増えていることが想定されるが、フロアの配置やスペースについては近い未来のことも想定して配置したい。

(町民)

議会はこういった考えなのか。議決を覆す内容での進み方だが、議会としてはどのように進んでいくべきか聞きたい。

(議会)

議会での検討委員会も作っているが、まだ動いてはいない。今後執行部から案がでてきたら考えていきたい。

(事務局)

懇談会やアンケートが終了したら、議員全員協議会を要請する予定である。

(町民)

役場には車で来る人がほとんどなのだから、広い駐車場が必要。また、そこに付随して接続道路からの出入りのスムーズさも考慮して欲しい。

また、町民が集える庁舎ということで、子どもが学校の帰りに迎えを待つことができたり、高齢者が休憩していけるような、誰もが利用しやすい庁舎を作ってもらいたい。

昔から坂下にいる人の意見も勿論大事だが、ほかの市町村から入ってきた方々の意見を取り入れることも、これからのまちづくりにおいて非常に重要だと思う。

(町民)

現庁舎が 50cm 浸水のハザードマップだと、青津は 3m 浸水する。今でも内水氾濫することが多々ある。阿賀川への排水についても考えてもらいたい。

(事務局)

河川事務所に対して要望をしていく。今現在は排水車 4 台での対応となっており、排水施設も非常にお金がかかると言われているが、今後も粘り強く要望する。

(町民)

真木に簡易の排水があるが、あれが上手くいなくて津尻温泉が浸水したなんてこともあったので、簡易排水ではないもので実施してほしい。

(町民)

効率的で利用しやすい庁舎という方針があるが、庁舎以外で集約しなければならないようなものはあるのか。駅裏倉庫や除雪センターであったりするが、そういった公共施設は集約するのか。

(事務局)

町の総合車庫については、新庁舎敷地に集約したい。今現在公用車が入っているが、飲酒してないかの確認が義務づけられており、対応するにはやはり庁舎の傍にないとできない。

また、必要のない用地については売却していきたいと考えている。

今教育課が入っている旧福島銀行については、坂下コミセンにできないかと検討している。

(町民)

アンケート等で、候補地について土地取得費や建物の費用等が示されていれば検討もしやすいのではないか。

(事務局)

これらの候補地については、まだ金額の交渉までは至っていないのが現状であり、実際に購入する段階にならないと交渉には入れないと考えている。ざっくりとした金額ではあるが、旧厚生病院の跡地は 6 億円くらいということは聞いた。

(町民)

町の収入は減っているのだろうと想像するが、例えばふるさと納税で **Yogibo** が非常に売れていると聞いた。坂下工場はあるらしいが、本社機能はないと思う。その分の住民税等があればなと思う。

(事務局)

本社ほどではないが、工場があり従業員もいるため法人住民税は頂いている。

(町民)

町税を上げるための手段というのを本気で考えていくべきなのではないか。坂下町は農業がメインだとは思いますが、様々な職種にあった政策を考えてほしい。

(事務局)

同様の考えです。本社機能をもってきてほしいというような交渉は継続しており、**Yogibo**とは関係ないが、別の会社で本社機能を移してもらえるとといった約束も取り付けています。今後も税収を上げていけるように努力していきたい。